

主な目次

- 第1講 私たちは、震災の記憶をどのように伝えていくのか？
——被災地での体験とともに——
- 第2講 スポーツの力
- 第3講 長年放射線教育活動と放射能測定をしてきた人間が、
その時何を思い、どう行動したか
- 第4講 こころのケアとソーシャル・サポート
- 第5講 「我慢」の精神とポスト3.11
- 第6講 シビルエンジニアが市民のための技術者であるために
- 第7講 79年「8.24」ポンペイ消滅
——復興されなかった被災都市——
- 第8講 2つのゴジラ映画に見る記憶の再現と操作
- 第9講 低線量被曝と高レベル放射性廃棄物の倫理